

# 集落点検活動を通じた被害対策の進め方

## 1 集落点検の目的

集落点検は、鳥獣被害を受けている住民と指導者が一緒になって被害対策の手がかりを探るために行うものです。「鳥獣被害が集落内のどこに分布しているのか？ 野生動物はどこから侵入しているのか？ 集落の弱点（被害対策の問題点）は何か」という視点から、農地だけでなく農地に隣接する周囲の山林を含めた集落全体を調査します。

## 2 点検の方法

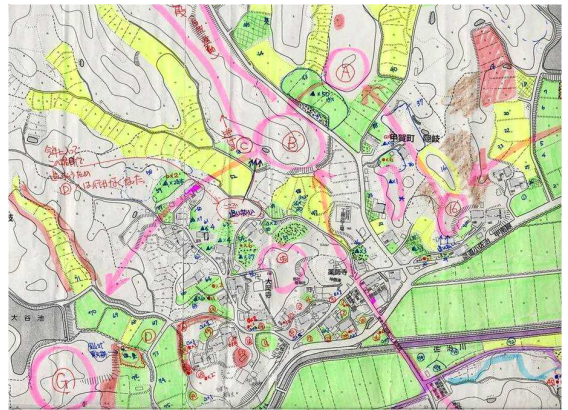
### (1) 事前調査

効率的な集落環境点検を行うために、集落の概要を事前に調査します。

- ・聞き取り調査票により、集落代表者から聞き取り調査を行います。
- ・1/5000以上の縮尺地図に、農地の作付状況を色分けして記入し、さらに防護柵の設置状況のほか、林縁部の果樹類も記入します。



集落代表者からの聞き取り調査



地図上に農地の情報を記入

### (2) 実施手順

指導者と集落住民が共同作業で実施し、1回の調査時間は2時間程度、調査結果の取りまとめを含めて半日で実施します。

- ① 班編制 住民と支援者3～5名程度で1班を編制し、1～3班で調査
- ② 役割分担 リーダーと写真係を各班1名 地図と野帳は支援サポーター各人が記録
- ③ 調査目的（集落住民が主体となる調査） 調査方法、集落の概況を説明
- ④ 調査ルートの確認
- ⑤ 調査ルートの踏査  
現地調査、聞き取り調査、記録（地図、野帳、写真、ビデオ）
- ⑥ 調査結果の取りまとめ

### 【必要な道具類等】

- ・筆記用具（鉛筆と3色以上のボールペン）、記録用紙、事前調査済み地図、バインダー
- ・デジタルカメラ、ビデオカメラ、双眼鏡等
- ・汚れても良い服装で長靴を履く、雨具、飲料水を携行

### (3) 調査項目

詳細な調査にこだわることなく、広く情報を集めて集落全体の被害状況を把握します。必要に応じて、個別の調査や季節毎の継続調査を行い、精度を高めていきます。

作付状況	放棄田、水田、作物（大豆、麦など）果樹、野菜（5品目まで）
被害状況	被害作物と加害獣、被害の程度、時期、程度（%）
果 樹	林縁部を中心に集落内の誘引物となる果樹の種類と数を記録する
その他誘引物	廃棄野菜、生ゴミ等
防護柵	種類、高さ、破損状況、老朽化等の管理状況、不備等
侵入経路	農地周辺、林縁部、森林内のけもの道
痕跡	農地、農地周辺、林縁部、森林内の足跡、糞、掘り返し等
森林植生	竹林、人工林、落葉広葉樹林、常緑広葉樹林、混交林、その他
林内環境	下層植生の状況等
その他	その他聞き取り事項、特記事項

### (4) 記録方法

出来る限り地図に直接書き込むこと。野帳には、地図に書き込めない情報を記録する。

#### ① 地図への記入方法

「イノシシによる被害（60%）」等、自由に書き込む。

#### 記入例

農 地：水田→水、大豆→大、放棄田→放

防 護 柵：電柵 金網柵 トタン柵

果 樹：カキ●、クリ△、モモ☆、ユズ◎ （記号は調査者が適宜決定）

侵入経路：イノシシ→、シカ→、サル→

痕 跡：イノシシ糞、イノシシ掘り返し、シカ足跡、

植 生：竹林、人工林、特徴的な植生を範囲を指定して記入する



集落点検活動（防護柵点検）



調査結果の取りまとめ



#### (7) 継続調査・個別調査

- ・集落の状況を把握するために、必要に応じて複数回の調査を行います。農地に作物が無くなる冬場の状況も被害対策の検討に必要なものです。
- ・農地の状況は、被害を受けにくい栽培管理を検討するための重要な情報であり、必要に応じて詳細な調査を行い、最終的には一覧表にまとめます。

### 3 被害対策のプランニング

#### (1) 集落点検に基づく検討会の実施

集落住民（出来れば全員）と支援者で、集落点検の検討会を開催し、集落診断カルテ、被害マップ、記録写真、ビデオ映像等の資料を用いて、被害実態の実情を全員で共有し、「出来ること」の対策を優先的にリストアップします。

#### (2) 被害対策の計画づくり

集落住民と行政、関係機関で役割分担した長期計画（年次計画）と短期計画（年間計画）を立てます。

### 4 被害対策の実行

被害対策の計画に基づいて、集落ぐるみの対策を実行します。支援者は技術支援を行います。下記の集落対策は、山口市仁保地区の取り組み事例です。



鳥獣害被害対策研修



サル追い払い実践研修



自治会の鳥獣害対策会議



カラス捕獲檻の整備など

集 落 聞 き 取 り 調 査 票

(様式1)

集 落 名	長 門 市(町) 油谷伊上地区 貝川集落	調 査 月 日	平成22年11月18日
回 答 者	西岡正則	調 査 者	小枝 登

ア 集落の状況

集落戸数	全： 9 戸 農家： 6 戸 専業農家戸数	0 戸	農地面積	ha
集落営農	・有・無・検討中 タイプ：・共同利用型・農作業受託型・集落営農型・他			
主な作物	水稻・ビワ・クリ・野菜(タマネギ・ダイコン ・白菜・キャベツ・カボチャ・スイカなど)	生産組合	・有・無( )	

イ 被害状況

被害内容	・農業被害(換金作物) 家庭菜園・生活被害(家屋、精神被害等) 10年以上前から						
加害動物	イノシシ	サル	シカ	タヌキ	クマ	カラス	
加害作物	水稻・野菜・ ビワの枝折	ビワ・クリ・柑 橘・野菜・水稻	ビワ(葉・枝 折)・イチゴ・ 柑橘の葉	スイカ		ビワ・柑橘・ スイカ	
時 期	周年	春～夏、秋	周年	夏		春～夏	
程 度	大	大	大	小		中	

※被害の程度：①ほとんど無い②軽度③大きい④深刻

ウ 防護柵(農地の周囲、集落柵)

個人で農地に柵を設置していますか	柵の種類は	・していない・一部している・多数している・ <b>大多数している</b>
集落共同で農地に柵を設置していますか	柵の種類は	・トタン柵・電気柵・金網柵・ワイヤーメッシュ柵・他
どんな動物の被害を防ぐためですか	柵の種類は	・していない・一部している・多数している・大多数している
集落柵の設置予定はありますか	柵の種類は	・トタン柵・電気柵・金網柵・ワイヤーメッシュ柵・他
集落柵を設置しない(出来ない)理由は	具体的なご記入下さい	イノシシ・シカ・サル
補助事業の活用についてどう考えますか (有効に活用したい、自己負担が大きすぎる等の意見を具体的に)	集落柵を設置しない(出来ない)理由は	・既設・予定はない・検討中・( )頃に予定している
	具体的なご記入下さい	・被害が軽微・経費が高すぎる・効果が期待できない ・集落内で被害の差が大きい・集落内の住民意識の差が大きい
	補助事業の活用についてどう考えますか (有効に活用したい、自己負担が大きすぎる等の意見を具体的に)	補助がないと防護柵の設置は困難で、補助事業を有効に活用したい。

エ その他の被害対策の取り組み

集落で取り組んでいる野生動物対策は	・追い払い・環境整備・栽培管理・他( )
捕獲対策はしていますか	・していない・有害捕獲申請・他( )
捕獲対象の動物はなんですか	イノシシ・シカ・サル

オ 獣害対策への意識

集落で対策について定期的に話し合っていますか	・いない・過去にある・ <b>時々ある</b> ・継続している
集落で被害の記録をつけていますか	・していない・記録している人がいる・記録している
被害対策の研修会に参加したことがありますか	・ない・参加した人がいる・集落で開催したことがある
研修会が開催されれば参加を希望しますか	・しない・希望する人がいる・集落での開催を希望する
集落で獣害対策に労力を割くことができますか	・出来ない・多少はやむを得ない・ <b>ある程度出来る</b> ・出来る
集落で獣害対策に費用をかけられますか	・出来ない・多少はやむを得ない・ <b>ある程度出来る</b> ・出来る
集落ぐるみで対策に取り組む意欲がありますか	・ない・検討する・ <b>ある</b> ・出来ない( )

カ 獣害問題の背景

これからの集落の農業の方向性について	・拡大傾向・現状維持・ <b>縮小傾向</b>
耕作放棄地の状況について	・放棄地はない・縮小傾向・現状維持・拡大傾向
集落としての獣害対策の優先度は	・最重要課題・重要課題の一つ・課題である・課題ではない 最重要課題は( )

キ その他の聞き取り事項(農産加工や直売所、都市との交流など集落独自の取り組みや目標は)

<p>集落で栽培された野菜は、直売所・共販所・農協の市場などに出荷されている。 農協油谷支所の市場は、月・水・金に出荷、長門地方卸売市場に出荷する人もいる。 防護柵を山側に設置しているので、山側から出没するイノシシや・シカはある程度防除できている。柵が設置できない河川などからの侵入、柵の切れ目からの侵入がある。(イノシシ柵をシカ柵用に改良)サルは、季節毎に侵入している。 捕獲については、箱ワナと大型囲いワナを設置して捕獲を行っている。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



(様式3)

撮 影 記 録

集落名 :

撮影日 :

記録者 :

NO	番号・記号	場所(農地、林縁)	コ メ ン ト
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

## 集落環境調査結果のまとめ

項 目	判定	コメント(改善点の例など)
-----	----	---------------

## ○防護柵

集落柵の設置状況		
集落柵の管理状況		
個人で農地を囲った柵		
菜園・果樹の防護		

## ○環境整備

くず野菜の廃棄、放棄野菜		
放任果樹		
裏山の整備		
耕作放棄地の管理		
空き家対策		

## ○農地管理

山際の栽培作物		
栽培作物のレイアウト		
農地周辺の環境整備		
冬場の農地管理		
耕作者の事情		



(様式5)

被害対策提案書

集落名：

調査年月日：

○防護柵


○環境整備


○栽培作物・農地レイアウト


○追い払い体制


○捕獲対策




集 落 年 度 鳥 獣 被 害 対 策 計 画 表

(様式8)

項 目	対 策 内 容	H 年 度	H 年 度	H 年 度	H 年 度	実 施 主 体	支 援 体 制
研修会・勉強会							
追い払い対策							
環境整備							
作付け・圃場レイアウト							
防護対策							
捕獲対策							
調査・研究							

